

中間報告（素案） 骨子（案） 【現行5か年計画の報告書との比較】

中間報告（素案） 骨子（案）		（参考）現行5か年計画
<p>第1章</p> <p>国立大学等施設の果たす役割</p> <p>1. 国立大学等の使命・役割</p> <p>2. 国立大学等施設の役割</p> <p>第2章</p> <p>国立大学等施設の現状と課題</p> <p>1. 第3次国立大学法人等施設整備5か年計画の検証</p> <p>(1) 重点的整備の状況</p> <p>(2) システム改革の状況</p> <p>(3) 施設整備による教育研究等への成果・効果</p> <p>2. 国立大学等施設の現状と課題</p> <p>(1) 安全・安心な教育研究環境の基盤の確保</p> <p>(2) サステイナブル・キャンパスの形成と地域との共生</p> <p>(3) 国立大学等の機能強化への対応</p> <p>(4) 財政上の課題</p> <p>(5) 諸外国における大学施設の戦略的整備</p> <p>第3章</p> <p>長期的視点からの国立大学等施設整備の在り方</p> <p>1. 国立大学等施設の目指すべき姿</p> <p>(1) 基本的な整備の方向性</p> <p>(2) 国立大学改革プラン等への対応</p>	<p>第2章については、現行計画策定時からの国立大学等をめぐる環境の変化等を踏まえ、現時点における国立大学等施設の課題等について、中間まとめの本文や参考資料を基に記述。</p> <p>また、専門部会により審議した、「費用の試算・分析等」に関する調査結果や「省エネ・CO2削減の試算・分析」の結果及び収集した「先進事例」の内容も踏まえ記述。</p> <p>諸外国の状況については、米国の大学施設整備に関する実態調査報告等を基に記述。</p> <p>国立大学等キャンパス計画指針（平成25年9月）の方向性を基に記述。</p> <p>中間まとめのⅢ.を基に記述。</p>	<p>第1章</p> <p>国立大学法人等施設の果たす役割</p> <p>1. 国立大学法人等の使命・役割</p> <p>2. 国立大学法人等施設の役割</p> <p>第2章</p> <p>国立大学法人等施設の現状と課題</p> <p>1. 第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画の検証</p> <p>(1) 重点的整備の状況</p> <p>(2) システム改革の状況</p> <p>(3) 施設整備による教育研究等への成果・効果</p> <p>2. 国立大学法人等施設の現状と課題</p> <p>(1) 老朽化の状況</p> <p>(2) 狭隘化の状況</p> <p>(3) 病院再生整備の状況</p> <p>(4) 地球環境問題への対応</p> <p>(5) 政策的な課題、社会的な要請への対応</p> <p>(6) 財政上の課題</p> <p>(7) 諸外国における大学施設の戦略的整備</p> <p>3. 東日本大震災における建物等の被害と課題</p> <p>(1) 被害の概要</p> <p>(2) 課題</p> <p>第3章</p> <p>今後の国立大学法人等施設整備の在り方</p> <p>1. 今後の国立大学法人等施設を目指すべき姿</p> <p>(1) 教育機能の発展</p> <p>(2) 研究機能の発展</p> <p>(3) 産学官連携の強化</p> <p>(4) 地域貢献の推進</p> <p>(5) 国際化の推進</p> <p>(6) 地球環境問題への貢献</p> <p>(7) 魅力あるキャンパス環境の充実</p>
<p>(1) 基本的な整備の方向性</p> <p>(2) 国立大学改革プラン等への対応</p>	<p>→</p> <p>→</p>	

<p>2. 戦略的なマネジメントの一層の推進</p> <p>3. 国及び国立大学法人等の連携・協力</p>	<p>直近のマスタープランの策定状況やシステム改革の取組状況を踏まえ、案文を作成。</p>	<p>2. 長期的視点に立った施設整備</p> <p>3. 国及び国立大学法人等の連携・協力</p>
<p>第4章</p> <p>今後の国立大学等施設整備における中期的な対応方策</p> <p>1. 中期的な視点に立った施設整備の基本的な考え方</p> <p>2. 重点的な施設整備の内容</p> <p>(1) 安全・安心な教育研究環境の基盤の確保</p> <p>(2) サステイナブルキャンパスの形成と地域との共生</p> <p>(3) 国立大学等の機能強化への対応</p> <p>①機能強化を活性化させる施設整備</p> <p>②教育研究の活性化を引き起こす老朽施設のリノベーション</p> <p>③継続的に医療等の変化へ対応していくための大学附属病院の整備</p>	<p>第4章については、中間まとめで整理した論点を基に案文を作成。</p> <p>中間まとめの「IV. 基本的な考え方―検討の方向性」の前文等を参考に記述。</p> <p>また、次期5か年計画期間中の具体的な目標等については、専門部会により審議した、「費用の試算・分析等」に関する調査結果や「省エネ・CO2削減の試算・分析」の結果及び収集した「先進事例」等を基に記述。</p>	<p>第4章</p> <p>今後の国立大学法人等施設整備における中長期的な対応方策</p> <p>1. 中長期的な視点に立った計画的・重点的な施設整備の推進</p> <p>2. 計画的・重点的な施設整備の基本的な考え方</p> <p>(1) 質的向上への戦略的整備 ―Strategy</p> <p>(2) 地球環境に配慮した教育研究環境の実現 ―Sustainability</p> <p>(3) 安全な教育研究環境の確保 ―Safety</p> <p>3. 重点的な施設整備の内容</p> <p>(1) 安全性・機能性に問題のある老朽施設等の改善</p> <p>(2) 高度化・多様化する教育研究活動の実施に不可欠なスペースの確保</p> <p>(3) 先端医療・地域医療に対応した大学附属病院の再生</p>
<p>3. システム改革の推進</p>	<p>施設マネジメントの推進や多様な財源を活用した施設整備の推進に向けた具体的な対応方策等について直近の取組状況等を踏まえ案文を作成。</p>	<p>4. システム改革の推進</p> <p>(1) 施設マネジメントの推進</p> <p>(2) 多様な財源を活用した施設整備の推進</p> <p>(3) 戦略的な施設マネジメントに必要な人材の育成</p>
<p>4. 計画のフォローアップ</p> <p>参考資料</p>	<p>現5か年同様に計画の達成状況を把握・検証するための指標などを記述。</p> <p>参考資料</p>	<p>5. 計画のフォローアップ</p> <p>参考資料</p>